

Let's Read!

中学生



『ルール!』

くどう じゅんこ 著
工藤 純子 著
講談社

品川区立図書館

『杉森くんを殺すには』

はせがわ まりる 作
長谷川 まりる 作
くもん出版



高校1年生のヒロは、杉森くんを殺すことに決めました。ヒロの友達の杉森くんは薬の過剰摂取によって既に亡くなっています。亡くなっている杉森くんを殺すとはどういうことなのか…。

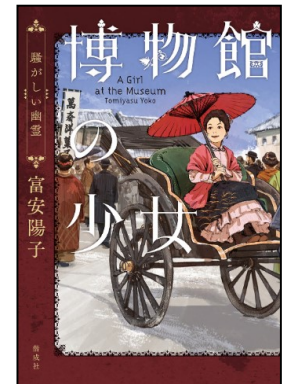
悩んでいる自分も、その周りの人も頑張っている。その頑張りを人と分け合う大切さを教えてくれる本です。

『博物館の少女 騒がしい幽霊』

とみやす ようこ 著
富安 陽子 著
偕成社

文明開化の東京にやってきた13歳の花岡ヒカルは、博物館の怪異研究所で働くことに。明治時代の軍人大山巖の屋敷に起こるポルターガイスト（騒がしい幽霊）現象を調べてほしいと依頼があり、ヒカルはその家の家庭教師として6日間潜入することになります…。

『博物館の少女』シリーズ2作目ですが、これだけでも楽しく読めます。気に入ったら是非シリーズで。



『アンナの戦争 キンダートランスポートの少女の物語』

ヘレン・ピーターズ 作 ^{おざき}尾崎 ^{あいこ}愛子 訳
借成社



第二次世界大戦時、主人公のアンナはナチスの迫害からユダヤ人の子どもを救出するキンダートランスポートによって、両親と別れ、ドイツからイギリスに行くことに。アンナは、受け入れてくれたディーン家の納屋でナチスからのスパイと戦います。手記がもとになったサスペンス長編小説です。

『雨にシュクラン』

こまつ あやこ 著 講談社

中2の秋、^{まほ}真歩は志望校選びのために訪れた影山高校の文化祭で書道パフォーマンスを目撃し、その姿に強く惹かれます。

^{もう}猛勉強の末、影山高校に合格。^{あこが}憧れの書道部に入りますが、父親の心の病気のために家族で引っ越すことに。影山高校以外は考えられない真歩は高校をやめ、勉強をしようと図書館に行くと…。



『スクランブル交差点』

^{さとう}佐藤 まどか 作
小学館



何事も、まあまあでいいと思っている強は、イタリアからの留学生マルコと出会います。強は、マルコのどこか間の抜けた日本語と、明るく前向きでなんでもやってみようとするところに次第に惹かれ、自分もやりたいことに挑戦しようと思うようになります。

交差点は渡らなければ向こう側にいけない。その先に見えてくるものは…。

『遠くの人と手をつなぐ SOSの届け方』

^{ちば}千葉 ^{のぞみ}望 著 理論社

「こども食堂」や「震災で被災した子どもへの学習支援」など、学校や家庭とは異なる第3の環境づくりに取り組んでいる大人がいます。

なぜ人は人を助けるのか。人と人がつながるとは、どういうことなのか。どこかの誰かのSOSに応えるべく、手を差し伸べる人々の姿を映し出したルポルタージュ。



『ハーベスト』

花里 真希 著 講談社



内向的で繊細な性格の朔弥は、担任の先生からの誘いで、緩く活動できそうな園芸部に入部します。しかし、そこには寡黙で少し怖い雰囲気を持つクラスの男子・西森君、はっきりと物事を言う上級生の帰国子女・アズサがいました。

性格も悩みもバラバラな3人は、時にすれちがいながらも、園芸を通してお互いに心を開いていきます。

『リックとあいまいな境界線』

アレックス・ジーノ 作 島村 浩子 訳 偕成社

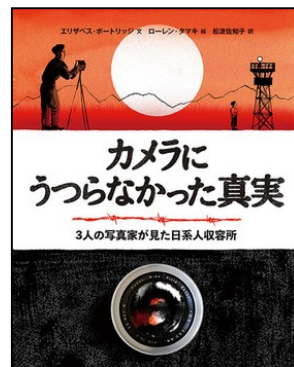
中1のリックは、自分がどのような人間なのかを考えて始めています。すると、自分が自分でいられなくなっている原因は、仲良しだった友達の存在にあるように思えてきました。そんな時、学校主催のある会に参加すると、そこでは、様々な性のあり方について意見交換がされていました。



『カメラにうつらなかった真実』

3人の写真家が見た日系人収容所

エリザベス・パートリッジ 文 ローレン・タマキ 絵
松波 佐知子 訳 徳間書店



日米間で戦争が始まった翌年、アメリカに住む日系人は財産も家も没収され、突如収容所に送られました。アメリカ側は、日系人を人道的に扱っていた記録を残すため収容所に写真家を送り込みます。その写真家たちに芽生えた思い、そして、収容所で生活を送る日系人たちの気持ちとは…。

『ルール!』

工藤 純子 著 講談社

文芸部に所属する中学2年生の知里は、学校外でのスマホ利用が校則違反にあたるとして、先生から職員室で自作の反省文を朗読するよう指示されます。

過剰な校則の存在に疑問を感じた知里は、それぞれの理由から同様の不満を感じている部の仲間と共に、校則改革計画を立てることに。そこへ思わぬ協力者も加わり、果たして計画の行く末は…。



『あした、弁当を作る。』



ひこ・^{たなか}田中 著 講談社

中学校1年生の目下部龍樹は、ある日母親が背中に触れたことにゾクッと寒気を感じました。それから、母親が作ったお弁当を食べることにプレッシャーを感じるようになり、自分でお弁当を作ることにします。

これは成長期？反抗期？子どもから大人への転換期を迎える今だからこそ読んでほしい！そんな1冊です。

『13歳から考える戦争入門 なぜ、戦争はなくなるのか？』

^{ますだ}増田 ユリヤ ^{はせがわ}監修 ^{あつし}長谷川 敦 著
かみゆ歴史編集部 編 ^{じゅんぼうしや}旬報社

2022年、ロシアによるウクライナ侵攻が始まりました。今も多くの人が亡くなっています。

戦争はなぜ起きるのでしょうか？そして、なぜなくなるのでしょうか？

第二次世界大戦、^{わんがん}湾岸戦争、イラク戦争。世界の戦争の数々から、争う理由、兵器、その後を知り、戦争について考えてみましょう。



このリストは、2023年に出版されたなかから中学生のみなさんにおすすめの本を掲載しています。

品川図書館	北品川2-32-3	TEL 3471-4667 FAX 3740-4014
二葉図書館	二葉1-4-25	TEL 3782-2036 FAX 3782-9430
荏原図書館	中延1-9-15	TEL 3784-2557 FAX 3784-8951
南大井図書館	南大井3-7-13	TEL 3761-6780 FAX 3768-7976
源氏前図書館	中延4-14-17	TEL 3781-6273 FAX 5702-4190
ゆたか図書館	豊町1-17-7	TEL 3785-6677 FAX 5702-4035
大井図書館	大井5-19-14	TEL 3777-7151 FAX 3777-4970
五反田図書館	西五反田6-5-1	TEL 3492-2131 FAX 3492-4995
大崎図書館	北品川5-2-1	TEL 3440-5600 FAX 3440-5604
大崎図書館分館	大崎3-12-22	TEL 3491-3430 FAX 3491-3291
八潮図書館	八潮5-10-27	TEL 3799-1414 FAX 3790-3442
大崎駅西口 図書取次施設 (おおさきこども図書館)	大崎2-11-1 大崎ウイズシティテラス2階	TEL 5487-6551 FAX 5487-6588

休館（所）日、開館（所）時間などは、各図書館・取次施設におたずねください。

このリストの書影は、各出版社の許諾を得て使用しています。